

フランスのポンピドゥ・センター・メツにて 2017年秋、日本の建築展／美術展を同時期開催

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）は、2017年秋より、フランス・メツのポンピドゥ・センター・メツとの共催により、同館にて、建築展および美術展を同時期に開催します。



（画像左）ポンピドゥ・センター・メツ外観

©Shigeru Ban Architects Europe et Jean de Gastines Architectes, avec Philip Gumuchdjian pour la conception du projet lauréat du concours / Metz Metropole / Centre Pompidou-Metz / Photos Philippe Gisselbrecht



（画像中央）建築展ポスター

Takeshi Hosaka, Hoto Fudo, Yamanashi, Japon © Nacasa&Partners Inc. / Koji Fujii © TAKESHI HOSAKA ARCHITECTS / Graphisme L&D, Kanta Desroches



（画像右）美術展ポスター

Kenji Yanobe, Atom Suit Project – Desert C-prints, 49,8 x 49,8 cm Collection particulière © Kenji Yanobe / Graphisme L&D, Kanta Desroches

今年9月から開催される建築展「ジャパン-ネス Japan-ness: 1945年以降の日本の建築と都市計画」は、118組の建築家・作家による300以上のプロジェクトを通じて、戦後から現代までの日本建築史を総括する、ヨーロッパで初の大規模な展覧会となります。日本およびフランスからの所蔵作品を中心に、貴重なオリジナル模型およそ65点、図面・スケッチ150点以上のほか、映像、写真、書籍資料等を、年代順の6つのセクションで構成し、日本の建築家たちの業績を展覧します。

10月から開催される美術展「ジャパノラマ Japanorama: 1970年以降の新しい日本のアート展」は、大阪万博が開催された1970年以降の日本の現代美術、視覚文化を概観的に俯瞰することを目的としています。キュレーターに東京都現代美術館参事・長谷川祐子氏をお迎えし、約100人・組の作家による350点あまりの作品を紹介する大規模な展覧会です。

1986年、パリのポンピドゥ・センターにおいて開催された「前衛芸術の日本1910-1970」展（Japon des Avant Gardes）は、海外における大規模な日本近現代芸術展として、美術史に残る記念碑的な展覧会となりました。それから30年を経て、ポンピドゥ・センター・メツにて、2017年9月から2018年5月まで「Japanese Season」と題し、上記2本の展覧会を核に、日本の芸術文化を総合的に紹介します。同センターでは、年間のシーズンを通して一つの国に焦点を当てた特集企画は、今回が初めての試みとなります。

なお、両展覧会は、日仏友好160周年に当たる2018年にパリを中心に開催される日本文化の大規模紹介行事「ジャポニスム2018」（事務局：国際交流基金）のプレリウド企画として先駆けて実施され、フランスでの日本の社会や文化への関心を喚起します。

主催者・本事業に関するお問い合わせ： 国際交流基金 文化事業部事業第2チーム
（ジャパン-ネス担当：鈴木、永田 / ジャパノラマ担当：難波、徳山）

Tel: 03-5369-6063 / Fax: 03-5369-6038 / E-mail: metz@jpf.go.jp

取材に関するお問い合わせ： 国際交流基金コミュニケーションセンター（担当：二村、熊倉、常盤）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp

■ ポンピドゥ・センター・メツスについて

ポンピドゥ・センター（パリ）の姉妹館として、2010年、フランスのロレーヌ地方に開館。2014年プリツカー賞を受賞した日本人建築家の坂茂氏と、フランス人建築家のジャン・ド・ガスティヌ氏が共同で設計を手掛けた。

■ 建築展概要

- 【展覧会名】 ジャパン・ネス Japan-ness 1945年以降の日本の建築と都市計画
- 【日 時】 2017年9月9日（土曜日）～2018年1月8日（月曜日）
- 【開館時間】 10月31日まで：月曜日・水曜日・木曜日 10時～18時 / 金曜日～日曜日 10時～19時 火曜日休み
11月1日以降：水曜日～月曜日 10時～18時 火曜日休み
- 【会場】 ポンピドゥ・センター・メツス（フランス、メツス市）
- 【主催】 国際交流基金（ジャパンファウンデーション）、ポンピドゥ・センター・メツス
- 【特別助成】 公益財団法人石橋財団
- 【協力】 全日本空輸株式会社
- 【キュレーター】 フレデリック・ミゲルー（ポンピドゥ・センター、パリ、フランス国立近代美術館副館長、建築及びデザイン部門統括チーフ・キュレーター、ロンドン大学バートレット建築学校学長兼教授、王立英国建築家協会[RIBA]名誉会員、フランス芸術文化勲章コマンドゥール）
アソシエイト・キュレーター：吉川由紀（ポンピドゥ・センター・メツス、特任研究員）
- 【展示デザイン】 藤本壮介設計事務所
- 【参加作家】 相田武文、東孝光、石元泰博、磯崎新、市川創太／ダブルネガティブスアーキテクチャー、伊東豊雄、大江宏、大高正人、大谷幸夫、菊竹清訓、北川原温、黒川紀章、坂倉準三、白井晟一、鈴木恂、丹下健三、日建設計、畠山直哉、早川邦彦、林（山田）雅子、原広司、前川國男、槇文彦、増沢洵、村野藤吾、毛綱毅曠、山本理顕、吉阪隆正、アントニン・レーモンド、六角鬼丈、渡邊洋治、渡辺義雄、ほか全118組を予定
- 【ウェブサイト】 <http://www.centrepompidou-metz.fr/en/japan-ness-architecture-and-urbanism-japan-1945>

主催者・本事業に関するお問い合わせ： 国際交流基金 文化事業部事業第2チーム
（ジャパン・ネス担当：鈴木、永田 / ジャパンノラマ担当：難波、徳山）

Tel: 03-5369-6063 / Fax: 03-5369-6038 / E-mail: metz@jpf.go.jp

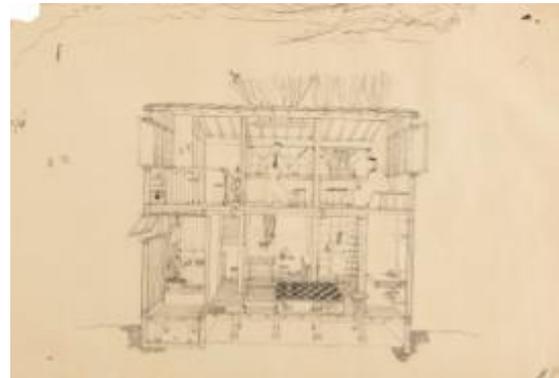
取材に関するお問い合わせ： 国際交流基金コミュニケーションセンター（担当：二村、熊倉、常盤）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp

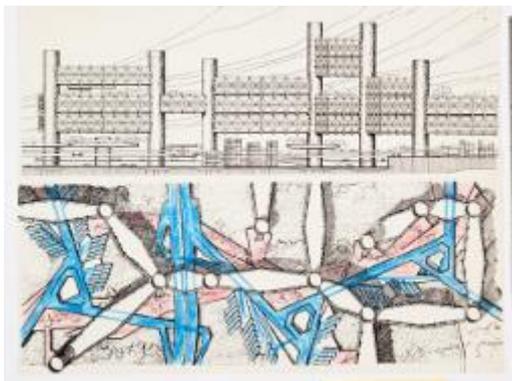
【建築展 出品作品画像（一部）】



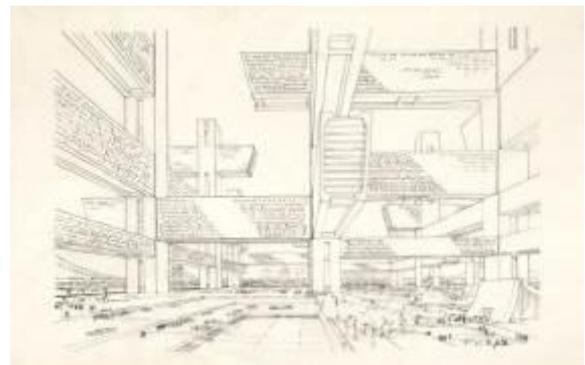
前川國男「プレモス7号型」組立説明図 / 1946年
株式会社前川建築設計事務所蔵



増沢洵「最小限住居」断面スケッチ / 1952年
増沢建築設計事務所蔵
撮影：木奥恵三



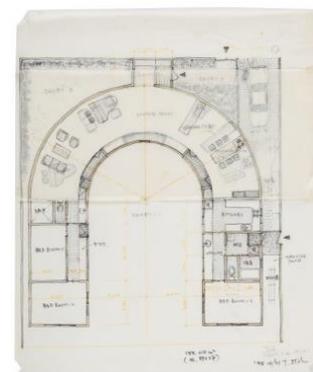
磯崎新「空中都市—新宿計画」立面図、平面図 / 1962年
磯崎新アトリエ蔵



丹下健三「東京計画 1960—その構造改革の提案」
スケッチ オフィスビル地区パース / 1960年
東京大学工学部都市工学科都市デザイン研究室蔵



菊竹清訓「都城市民会館」模型 / 1966年
株式会社菊竹清訓建築設計事務所蔵
撮影：木奥恵三



伊東豊雄「中野本町の家」ドローイング / 制作年不詳
伊東豊雄建築設計事務所蔵
撮影：木奥恵三

